



S.Setoguchi

THE KYOTO HIMBA STAKES

第59回 京都牝馬ステークス (GⅢ)

1着 賞 38,000,000円 2着 15,000,000円 3着 9,500,000円 4着 5,700,000円 5着 3,800,000円
付加賞 637,000円 182,000円 91,000円



レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

牝、4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 55⁺、2023.2.18以降GⅠ競走1着馬3⁺増、GⅡ競走1着馬2⁺増、GⅢ競走1着馬1⁺増、
2023.2.17以前のGⅠ競走1着馬2⁺増、GⅡ競走1着馬1⁺増(ただし2歳時の成績を除く)

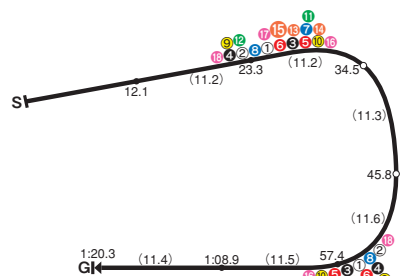
2024.2.17 京都 晴・良 芝1400⁺ 国産(特指)

順	馬番	馬名	性	齢	斤	騎	タイム (着差)	コーナ ー通過 順位	上り (600 ⁺)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーテ ィング
1	⑤	ソーダスリング	牝	4	55	武 豊	1:20.3	9-7	33.9	472(+4)	3.8②	音無秀孝(栗東)	107
2	⑫	ナムラクレア	牝	5	56	浜中 俊	クビ	14-10	33.6	478(+10)	2.8①	長谷川浩大(栗東)	108
3	⑨	コムストックロード	牝	5	55	B.M.ガエフ	1	16-14	33.5	454(-6)	269.0⑩	中野栄治(美浦)	104
4	⑧	スマートリアン	牝	7	55	角田大河	クビ	13-14	33.8	482(+2)	106.5⑨	石橋 守(栗東)	103
5	⑥	シングザットソング	牝	4	57	鮫島克駿	ハナ	9-10	34.0	450(+4)	59.1⑪	高野友和(栗東)	
6	⑩	ロータスランド	牝	7	55	松山弘平	½	18-18	33.3	492(-6)	10.3③	辻野泰之(栗東)	
7	④	テンハッピーローズ	牝	6	55	津村明秀	クビ	16-14	33.6	462(+8)	29.4⑧	高柳大輔(栗東)	
8	⑪	モズゴールドバレル	牝	4	55	団野大成	½	4-4	34.6	448(-10)	11.6⑦	藤岡健一(栗東)	
9	③	ドロップオブライト	牝	5	55	小沢大仁	½	7-7	34.4	444(+6)	46.8⑨	松永昌博(栗東)	
10	⑭	メイケイユール	牝	6	56	池添謙一	アタマ	7-7	34.6	494(-)	7.6③	武 英智(栗東)	
11	⑩	ブレーザージュフト	牝	5	55	R.キングコート	1½	2-2	35.2	486(+2)	8.5④	木村哲也(美浦)	
12	⑮	モズメイメイ	牝	4	57	田口貴太	½	1-1	35.4	466(+10)	86.5⑫	音無秀孝(栗東)	
13	①	ムーンプロープ	牝	4	55	A.L.メートル	ハナ	11-10	34.6	472(+2)	278.2⑬	上村洋行(栗東)	
14	⑦	ボンボヤージ	牝	7	55	川須栄彦	½	11-10	34.7	448(-2)	350.8⑭	梅田智之(栗東)	
15	②	アールリングウェイ	牝	5	55	M.デムーロ	アタマ	14-17	34.3	480(+2)	87.8⑩	藤岡健一(栗東)	
16	⑬	ジューンオレンジ	牝	4	55	和田竜二	½	2-2	35.5	462(-6)	45.5⑨	長谷川浩大(栗東)	
17	⑦	スリーパーダ	牝	5	55	岩田望来	クビ	4-4	35.4	438(+4)	161.3⑮	斉藤崇史(栗東)	
18	⑥	ウインジャーロット	牝	6	55	石川裕紀人	7	4-4	36.6	512(±0)	14.4⑥	和田正一郎(美浦)	

単勝⑤380円(2⁺増) 複勝⑤150円(2⁺増) ⑫130円(1⁺増) ⑨2,900円(17⁺増) 枠連⑥-⑦350円(1⁺増)

馬連⑫-⑤650円(1⁺増) ワイド⑫-⑤330円(1⁺増) ⑨-⑫18,310円(87⁺増) ⑨-⑫11,180円(72⁺増)

馬単⑤-⑫2,240円(1⁺増) 3連複⑨-⑫-⑤55,140円(129⁺増) 3連単⑤-⑫-⑨179,650円(489⁺増)



通過タイム : 600⁺ 800⁺ 1000⁺ 上り : 800⁺ 600⁺
34.5 - 45.8 - 57.4 45.8 - 34.5

アラカルト

- ・武豊騎手はチェレブリタで制した09年に続く京都牝馬S 4勝目で、O.ベリエ騎手に並ぶ本競走最多勝利タイ。JRA重賞は通算358勝目
- ・音無秀孝調教師は京都牝馬S初勝利。JRA重賞は通算87勝目
- ・ハーツクライ産駒はJRA重賞通算85勝目
- ・4歳馬の勝利は18年ミスバンテールに続く通算27回目
- ・勝ちタイム1:20.3は19年にデアレガーロが記録した1:21.0を0秒7を更新するレースレコード
- ・複勝2,900円は同式別における本競走の最高払戻金額
- ・馬連650円は同式別における本競走の最低払戻金額

ソーダズリング So Dazzling

牝 黒鹿毛 2020.3.30生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・宥社台レースホース 栗東・音無秀孝厩舎
馬名意味・とても眩しい

スーアIRE系 F16-F

ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	アイリッシュダンス 鹿毛 1990	トニービンIRE ビューバーダンスUSA
ソーマジック 鹿毛 2005	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S. Tee Kay
	スーアIRE 鹿毛 1997	Fairy King
		Bold Starlet

5代までのインブリード：Hail to Reason S4×M5 Northern Dancer M4×S5

INTERVIEW

藤原伸一郎厩舎長(社台ファーム)

まだまだこれからだと思います

早期デビューを果たした兄妹と比較して成長曲線が緩やかで、育成期は筋肉痛や蹄不安などでなかなか軌道に乗れなかったものの、初めて乗った際の背中との接触が素晴らしく、その感覚を信じて噛み合ってくるまで待ち続けました。武豊騎手と音無厩舎の皆さんに距離を含めて能力発揮の場を見極めてもらい会心の勝利となりました。この馬はまだまだこれからだと思います。

Y.Machida



戦らしい速い流れでレースが進むなか、ソーダズリングの武豊騎手は中国の外に腰を落着ける。3番人気の支持を集めた重賞6勝馬メイケイエルはスタートで立ち遅れた後、課題の折り合い難を露呈して中団まで進出。対して脚を溜めて後方を進んだナムラクレアは3、4コーナーの坂の下りで外へ持ち出し、追撃態勢を整えた。

直線に向くと馬群は大きく横に散開、残り200m地点で力尽きたモズメイメイに最内を突いたロータスランド、馬場の真ん中を伸びてきたシングザットソングなどが襲い掛かる。しかし最後は大外へ持ち出された面々の末脚が優り、ゴール前は1、2番人気馬の一騎打ちに。外から懸命に詰め寄るナムラクレアの追撃をソーダズリングが凌ぎ切り、勝利を手にした。

エルトンバローズを下して未勝利戦(阪神・芝1800m)を勝ち上がり、直後のフロラSでも2着に好走した昨春の本馬だが、マジックキャッスル、ソヴァリアントの半妹にあたる良血は距離の短縮をきっかけに開花。秋にマイルの3勝クラス特別を鋭く差し切った上昇気流に乗り、続くターコイズSでも小差の4着に追い込んだ。初の1400m戦に矛先を向けたこの日は、38年連続のJRA重賞制覇を達成した名手に導かれ、新境地を開拓。重賞初制覇を果たすとともに、今後の選抜肢も広げる勝利を飾った。

父ハーツクライ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央、首、英19戦5勝(ドバイシーマクラシック・首^{G1}、有馬記念^{G1}、京都新聞杯^{GII})、最優秀4歳以上牡馬、07年から供用、21年引退、23年死亡。19年日本リーディング2位
〔代表産駒〕リスグラシュー(コックスプレート・豪^{G1}、有馬記念^{G1}、宝塚記念^{G1})、ジャスタウェイ(ドバイデューティフリー・首^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}、安田記念^{G1})、ドウデュース(日本ダービー^{G1}、有馬記念^{G1}、朝日杯フューチュリティS^{G1})、ヨシダJPN Yoshida(ウッドワードS・米^{G1}、ターフクラシックS・米^{G1})、ワンアンドオンリー(日本ダービー^{G1})、ヌーヴォレコルト(オクス^{G1})、スワーヴリチャード(ジャパンC^{G1})、シュヴァルグラン(ジャパンC^{G1})、コンティニウスJPN Continuous(英セントレジャー^{G1})、他に重賞勝ち馬多数

母ソーマジック

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央20戦4勝(アネモネS^{OP}、立川特別、春菜賞、桜花賞^J、I 3着、ターコイズS^{OP} 3着)

ソーマージング(13 牡父ネオユニヴァース)中央11戦1勝、地方1戦0勝

ソーグリットリング(14 牡父ステイゴールド)中央31戦7勝(都大路S・L、六甲S・L、長岡京S、長久手特別、エプソムC^{GM} 2着、メイS^{OP} 2着、関屋記念^{GM} 3着、エプソムC^{GM} 3着、カシオペアS・L 3着)

メジャーマジック(15 牝父ダイワメジャー)中央16戦1勝、地方1戦0勝
マジックリアリズム(16 牝父ディーピンパクト)中央17戦1勝、地方1戦0勝

マジックキャッスル(17 牝父ディーピンパクト)中央17戦2勝(愛知杯^{GM}、秋華賞^{G1} 2着、阪神牝馬S^{GM} 2着、クイーンS^{GM} 2着、クイーンC^{GM} 2着、ファンタジーS^{GM} 2着、ヴィクトリアマイル^{G1} 3着)

ソーヴァリアント(18 牡父オルフェヴル)中央17戦5勝(チャレンジC^{GM} 2回、藻岩山特別、利尻特別、セントライト記念^{GM} 2着、富士S^{GM} 3着) ⑩
マジカルキュート(19 牝父ディーピンパクト)中央1戦0勝

ソーダズリング 本馬(20 牝父ハーツクライ)中央8戦3勝(京都牝馬S^{GM}、三年坂S、フローラS^{GM} 2着)獲得総賞金92,017,000円

ミラビリスマジック(21 牝父キズナ)中央2戦2勝(菜の花賞) ⑨
※22、23(不受胎)

祖母スーアIRE

伊、仏5勝(伊1000ギニー^{G2}、キウスーラ賞・伊^{G3} 2着、ノヴェラ賞・伊L 2着、ドルメロー賞・伊^{G3} 3着)、01年輸入、17年用途変更
ソーマジック(05 前出)

初の舞台で今後につながる勝利を掴む

昨年(2023)はハンデ戦のシルクロードS(1着)から高松宮記念(2着)へ進んだナムラクレアが、今年は別定重量の京都牝馬Sを始動戦に選択。全5勝を1200m戦で挙げている一方、1400m戦も十分に「守備範囲」といえる実績(2戦して重賞2着2回)を残している5歳牝馬が1番人気の支持を集めた。しかし白星発進は飾れず、同馬はクビ差の2着に惜敗。その前には対抗候補と目されていた4歳牝馬ソーダズリングが立ちはだかった。

昨年の姿Sを逃げ切った後は、自分の競馬ができずに精彩を欠いていたモズメイメイが外枠から勢いよく飛び出し、久しぶりに主導権を奪取。短距離